

令和3年度 学校教育目標「気づき 考え やり抜く子」

重点目標「すすんでやります 心をこめて」

合い言葉「明るいあいさつ きれいな学校」

学校経営目標「すべての子が輝く楽しい学校づくり～子どもが主役の学校～」

十二支の中での「寅」年の意味は？～日常に戻る年にしたいですね～

新年、明けましておめでとうございます。本年もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

本年は寅年です。「寅」という文字には「まっすぐに伸ばす、引っ張る」という意味があり、家の中で矢を両手でまっすぐに伸ばす様子を表しています。家を表す「宀」に「矢」、ひきとめるという意味の「𠂔」を足して「寅」という文字ができたそうです。十二支は数や方角だけでなく、それぞれ独自の意味をもっています。「寅」はもともと「演」が由来といわれ「人の前に立つ」、演と同じ読みの「延（えん）」から「延ばす・成長する」という意味につながり、「寅年」は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。



昨年も一昨年から続いて、新型コロナウイルス感染拡大が私たちの生活に大きな影響を与えました。最近になり、オミクロン株の急拡大が心配されるようになってきています。まだまだコロナ禍前の生活に戻ることは難しい状況にありますが、2022年（令和4年）の寅年は、今後の希望の新しい芽が「成長する」、新しい日常が「始まる」年になって欲しいものです。



新年にあたって、今日は「どんな小さなことでも、徹底して続けることの大切さ」についての逸話を紹介します。江戸時代の学者に新井白石という人がいます。名前は聞いたことがある人もいると思います。新井白石が子どもの頃、父親が白石に次のようなことを話しました。

「お米の入っている米びつから、一粒だけ米を取っても、減ったとはわからない。反対に、一粒入れても増えたかどうかはわからない。しかし、それを1年、2年毎日続けると減ったか増えたかは、明らかに目に見えてくる。」

「勉強も同じで、一日勉強したから賢くなるわけではなく、また、1日怠けたからできなくなるというものでもない。しかし、1年、2年続ければ必ず変わってくる。」と話をしたとのこと。



新井白石(江戸時代中期)
旗本・政治家・朱子学者

たった一粒の米、それは、「たとえどんな小さなことでも」というたとえでしょう。「漢字を毎日10字ずつ練習する」「自分から進んで挨拶をする」「掃除を一生懸命やる」「友達に親切にする」など、「どんな小さなことでもいいから、続けていくことで、すばらしい自分になっていくのだ。」こんなことを新井白石の父親は、教えたかったのだらうと思います。

子どもたちに大切にしてほしいことは？～アンケートへのご協力ありがとうございました～

12月の「子育てをするうえで大切にしていること」保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。保護者、地域と連携しながら学校教育を考えていくための参考資料として実施させていただきました。アンケート結果の上位項目についてお知らせいたします。

【子育てをするうえで大切にしていること】 ※回答数 69世帯

- ルールやマナーを守ること … 39.1%
- 感謝する心をもつこと … 36.2%
- 違いを認め、思いやりをもって他と関わること … 29.0%
- 善悪を正しく判断すること … 27.5%
- 最後まで粘り強くやり通すこと … 26.1%

結果を見ると、学校でも意識しながら取り組んでいる内容が上位を占めました。子どもたちに身につけているか、同月に実施した保護者の学校評価アンケートの結果(※詳細な結果については後日お知らせいたします)を見ると、「善悪の判断」と「粘り強く取り組む」の保護者からの評価がいま一步でした。学校でもまだまだ取り組むべき教育活動があると考えますので、まとめの3学期として、子どもたちに必要とされる生きる力を保護者・地域と共同し、高い意識をもって育んでいきたいと思えます。

地域とともにある学校～コミュニティスクールの取組み

<12月15日 3年しいたけ農家訪問>

3年生は、後山区の水口さんがしいたけを栽培している山へ見学に行かせていただきました。日頃しいたけは食べていても、それがどんな場所で育ち、どう栽培するかを知っている子のごくわずかです。前日から「明日は見学。しいたけが出来ている場所を見に行くんだよ」と楽しみにしていた3年生。

実際に見学に行くと、水口さんから丁寧に説明をしていただき、菌打ち体験もさせていただくことができました。水口さんの所では3万本のほだ木があり、その量や光景にも驚いた様子で、学校に戻ってくるとすぐ「しいたけは、木に開けた穴に菌を植えないとできないんだよ」「あんなにたくさんしいたけを見たのは初めて」と興奮気味に話していました。実際にその場に行って「見る」「実際にやってみる」という本物の体験ができたことで、地域の産業への理解もより深まり、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。



<12月17日 5年餅つき体験>

粉巻き、田植え、稲刈りと行い、この日は餅つきです。自然体験教室でうるち米を「炊く」経験をしている5年生は、餅米を「蒸す」場面から見せてもらい、いざ餅つきへ。実際に自分たちで餅をついた経験のない子も多く、「初めて杵と臼を見た」「始めからつくのかと思ったら、始めは米をこねると初めて知った」と話す子もいました。杵の重

さ、米が餅になっていく過程、つくときの音の変化等、初めての体験がたくさんありました。また、5年生は、餅つきに向けて大豆からきな粉を作る実習もしており、餅やきな粉等、当たり前のように食べているものを作るまでの大変さも味わうことができました。

実施に当たり、CS委員の皆さんや地域の多くの皆様のご協力をいただきました。当日も30名程度の地域の方に関わっていただき、全ての準備を整えてくださいました。地域の方の大きな支えを実感することもでき、本当においしく、嬉しい1日となりました。



<2月の主な学校行事>

2月 2日(水)	6年生中学入学説明会	2月16日(水)	参観会 懇談会 弁当
3日(木)	感謝の会		「くまっこの未来を考える」ワークショップ
9日(水)	新1年生入学説明会	24日(木)	6年生を送る会



☆新型コロナウイルス感染状況等により、予定している行事等が変更になることがあります。ご了承ください。